科目名	エコ教養Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1	武田
教員の略歴	大東文化大学卒、ペットショップ、、TCA東京ECO教務					
授業の学習内容	・講義・演習を通して業界で働く上での基礎を学び、即戦力としてのマインドとスキルを身に着ける。 ・環境教育に向き合う、マインドを身に着ける。					
到達目標	・各種業界の基本的な業態・知識を理解することが出来る。 ・環境教育への視野を広げ、自分自身の考えを述べる力を身に着ける。					
評価方法と基準	定期試験ト100% 筆記試験評価：GPA（A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　前回とは異なる内容の筆記試験を行い、60点以上であればD評価とする。 出席率66.7%以上で上記評価の対象者とする。					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	授業内容の説明、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	目的、目標、方法の理解
2	講義	動物業界についての基礎知識を学ぶ	各業界で学んだ内容の振り返りシートを発注。
3	講義	動物業界についての基礎知識を学ぶ②	
4	講義	海洋業界についての基礎知識を学ぶ①	
5	講義	海洋業界についての基礎知識を学ぶ②	
6	講義	動物園業界について基礎知識を学ぶ。①	
7	講義	動物園業界について基礎知識を学ぶ。②	
8	講義	愛玩動物看護師の仕事についてを理解する①	
9	講義	愛玩動物看護師の仕事についてを理解する②	
10	講義	動物業界卒業生からの特別講義①	
11	講義	動物業界卒業生からの特別講義①	他者から出た意見を検討し、自分自身にはなかった視野の広げ方に取り組む。
12	講義	自然環境系業界についての基礎知識を理解する①	
13	講義	自然環境系業界についての基礎知識を理解する①	
14	講義・試験	授業の振り返りを行い理解度を深める。 試験（60分　筆記試験）	試験範囲の予習と対策
15	講義	試験の振り返りを行い、理解できていなかった部分を把握し、改めて身につける。	振り返り動画の共有。
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す。	

【使用教科書・教材・参考書】

※指示をしたときのみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	ドッグトレーニング演習Ⅴ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	安齋裕己
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	演習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	1989年　Dog Training Club PURE GOLD 開業　　元埼玉県警嘱託警察犬訓練士						
授業の学習内容	犬のトレーニングに必要な基礎知識を理解するための講義と、実際に犬を使った演習を行うことによりより深くトレーニングを理解する授業です。 自分自身がしっかりとトレーニングを理解する事により、犬が理解しやすいトレーニングを習得します。 ※　実際に犬を使ったトレーニングを行う授業のため、内容に変更のある場合があります。						
到達目標	犬の本能を利用したトレーニング方法を使い、基本動作を犬に教えることが出来る。 後期及び、進級後に備えアマチュアにトレーニング方法を理解しやすく説明出来る様になる。						
評価方法と基準	・定期試験（筆記試験）　60% ・講義・演習中の態度及び、トレーニング成果　40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	担当犬の理解（実際に犬と接することにより、性格を読み取り、犬具の装・脱着が出来る）	学校飼育犬及び、担当犬の管理
2		講義・演習	招呼（呼び戻し）を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
3		講義・演習	正しいポジションへの招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
4		講義・演習	喜求的招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
5		講義・演習	声符・視符を正しく使うことが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
6		講義・演習	停座を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
7		講義・演習	停座及び招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
8		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
9		講義・演習	伏臥を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
10		講義・演習	JKC家庭犬訓練試験の規定を理解する	学校飼育犬及び、担当犬の管理
11		講義・演習	脚側行進の基礎を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
12		講義・演習	脚側行進の基礎を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
13		講義・演習	脚側行進の応用を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
14		講義・試験	試験（筆記試験）	学校飼育犬及び、担当犬の管理
15		講義・演習	前期の講義と演習を振り返り、総合的な理解を深める	学校飼育犬及び、担当犬の管理
準備学習　時間外学習			学校飼育犬の飼育当番及び観察で充当	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ドッグトレーニング演習Ⅵ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	安齋裕己
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	演習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	1989年　Dog Training Club PURE GOLD 開業　　元埼玉県警嘱託警察犬訓練士						
授業の学習内容	犬のトレーニングに必要な基礎知識を理解するための講義と、実際に犬を使った演習を行うことによりより深くトレーニングを理解する授業です。 自分自身がしっかりとトレーニングを理解する事により、犬が理解しやすいトレーニングを習得します。 ※　実際に犬を使ったトレーニングを行う授業のため、内容に変更のある場合があります。						
到達目標	犬の本能を利用したトレーニング方法を使い、基本動作を犬に教えることが出来る。 後期及び、就職に備えアマチュアにトレーニング方法を理解しやすく説明出来る様になる。						
評価方法と基準	・定期試験（筆記試験）　60% ・講義・演習中の態度及び、トレーニング成果　40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	担当犬の理解　稟性と性格	学校飼育犬及び、担当犬の管理
2		講義・演習	JKC家庭犬訓練試験の規定を理解する	学校飼育犬及び、担当犬の管理
3		講義・演習	称呼の確実性を高める	学校飼育犬及び、担当犬の管理
4		講義・演習	喜求的招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
5		講義・演習	脚側行進の基礎を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
6		講義・演習	停座及び招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
7		講義・演習	伏臥・立止を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
8		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
9		講義・演習	脚側行進の応用を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
10		講義・演習	脚側行進の応用を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
11		講義・演習	行進及び停座を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
12		講義・演習	行進中の停座・伏臥を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
13		講義・演習	遠隔の基本姿勢を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
14		講義・試験	試験（筆記試験）	学校飼育犬及び、担当犬の管理
15		講義・演習	前期の講義と演習を振り返り、総合的な理解を深める	学校飼育犬及び、担当犬の管理
準備学習　時間外学習			学校飼育犬の飼育当番及び観察で充当	

【使用教科書・教材・参考書】